

自己報告形式の脊髄障害自立度評価法の 日本語版 (jSCIM-SR)

以下の質問に対して、あなたの現在の状態に最も近い文にチェックを付けてください。
現在日常生活に制限を生ずる健康上の問題がある場合は、その現在の状態に応じて回答してください。

注意深く文を読み、一つの質問に一つだけチェックを入れてください。

1, 食べることや飲むこと

- 点滴や栄養のための管が必要.
- 食べることや飲むことは全く自分自身では不可.
- 食べることや飲むことに部分的な他人の助けが必要, または補助具の付け外しに他人の助けが必要.
- 食べることや飲むことは自分でできる. 補助具を必要とするか, 食べ物を切ったり, 飲み物を注いだり, 容器を開ける際に他人の助けが必要.
- 食べることも飲むことも自分でできる. 他人の助けや補助具は不要.

2A, 上半身と頭を洗う

「上半身と頭を洗う」は、石鹸でこすり、乾かし、蛇口の開け閉めをすることを含みます。

- 全面的に介助が必要.
- 部分的に介助が必要.
- 自立しているが、補助具や特定の設備(例：手すり、椅子)が必要.
- 自立しており、補助具や特定の設備は不要.

2B, 下半身を洗う

「下半身を洗う」は、石鹸でこすり、乾かし、蛇口の開け閉めをすることを含みます。

- 全面的に介助が必要.
- 部分的に介助が必要.
- 自立しているが、補助具や特定の設備(例：手すり、椅子)が必要.
- 自立しており、補助具や特定の設備は不要.

3A, 上半身の更衣

「上半身の更衣」は、Tシャツ、ブラウス、シャツ、ブラジャー、ショール、装具(例：上肢装具、頸椎カラー、コルセット)といった衣服を着たり脱いだりすることを含みます。

- ・簡単に脱ぎ着できる衣服とはボタン、ファスナー、くつひもの無い衣服です。
- ・脱ぎ着が困難な衣服とはボタン、ファスナー、くつひものある衣服です。

- 全面的に介助が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服であっても部分的に介助が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服では介助は不要だが、補助具や特定の設備が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服では自立していて、脱ぎ着が困難な衣服の時のみ介助や補助具や特定の設備が必要。
- 完全に自立している。

3B, 下半身の更衣

「下半身の更衣」は、半ズボン、長ズボン、靴、靴下、ベルト、装具(例：下肢装具)といった衣服を着たり脱いだりすることを含みます。

- ・簡単に脱ぎ着できる衣服とはボタン、ファスナー、くつひもの無い衣服です。
- ・脱ぎ着が困難な衣服とはボタン、ファスナー、くつひものある衣服です。

- 全面的に介助が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服であっても部分的に介助が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服では介助は不要だが、補助具や特定の設備が必要。
- 簡単に脱ぎ着できる衣服では自立していて、脱ぎ着が困難な衣服の時のみ介助や補助具や特定の設備が必要。
- 完全に自立している。

4, 身づくろい

手洗い、洗顔、歯磨き、整髪、髭剃り、化粧といった行為について考えてください。

- 全く自分自身では不可。
- 部分的な他人の助けが必要。
- 補助具があれば自分でできる。
- 補助具がなくても自分でできる。

5, 呼吸

呼吸(気管)チューブが必要で,

- 常にまたは時に補助換気をする必要がある.
- もう少し酸素を投与したり, 咳をする時や呼吸チューブの管理に多大な介助をしたりする必要がある.
- 咳をする時や呼吸チューブの管理にほとんど介助を必要としない.

呼吸(気管)チューブは不要で,

- しかし酸素や, 咳をする時に多大な介助を必要としたり, 時々マスク(例: ピープ), や補助換気(例: バイパップ)を使用したりする必要がある.
- 咳をする時に介助や刺激がほんのわずかに必要.
- 介助や補助具なしで自立して呼吸や咳が可能.

6, 排尿管理

膀胱を空にする方法について考えてください.

6A, 留置カテーテルの使用

- はい → 7A へ進んでください.
- いいえ → 6B と 6C にも答えてください.

6B, 間欠的導尿

- 全面的に介助が必要.
- 介助があれば自分でできる(自己導尿法).
- 介助はなくても自分でできる(自己導尿法).
- 用いない.

6C, 集尿器(例: コンドーム型カテーテル, おむつ, 尿パッド)の使用

- その使用に全面的に介助が必要.
- その使用に部分的に介助が必要.
- 介助なしで使用.
- 失禁無く, 集尿器は使用しない.

7, 排便管理

7A, 排便管理に他人の助け(例：座薬の挿入)が必要ですか?

- はい.
- いいえ.

7B, 排便は

- 不規則またはまれ(3日に1回未満).
- 規則的(3日に1回以上).

7C, 便失禁(失敗)が起こるのは

- 1ヶ月に2回以上.
- 1ヶ月に1回.
- 全くない.

8, トイレの使用

トイレの使用, すなわち陰部の清潔, 手洗い, 服の脱ぎ着, 生理用ナプキンまたはおむつの使用について考えてください.

- 全く自分自身では不可.
- 部分的な他人の助けが必要で, 自分で陰部を拭くのは不可.
- 部分的な他人の助けが必要で, 自分で陰部を拭ける.
- 他人の助けが不要であるが, 補助具(例: 手すり)または特別な環境(例: 車椅子対応トイレ)が必要.
- 他人の助けも補助具も特別な環境も不要.

9, 介助や電動器具なしに以下の4つの動作のうちいくつできますか.

- ・ ベッド上で上半身の向きを変える
 - ・ ベッド上で下半身の向きを変える
 - ・ 起き上がる
 - ・ 車椅子上でのプッシュアップ(補助具の要否はどちらでもよい)
- なし, 全ての動作に介助が必要.
 - 1個.
 - 2-3個.
 - 全て.

10, ベッドから車椅子への乗り移り

- 全面的に介助が必要.
- 部分的に介助や見守りや補助具(例：トランスファーボード)が必要.
- 介助も補助具も不要.
- 車椅子は使用しない.

11, 車椅子からトイレや浴槽への乗り移り

この質問は車椅子やベッドからトイレ用車椅子への乗り移りも含みます.

- 全く自分自身では不可.
- 部分的な他人の助けや見守りや補助具(例：手すり)が必要.
- 他人の助けも補助具も不要.
- 車椅子は使用しない.

12, 屋内の移動

車椅子が必要. 動くために

- 全面的に介助が必要.
- 電動車椅子を必要とするか, または手動車椅子を操作するのに部分的に介助が必要.
- 手動車椅子で自立している.

屋内を歩行し,

- 歩行時に見守りを必要とする(補助具の要否はどちらでもよい).
- 歩行時に歩行器または松葉杖を使用し, 両足を前に同時に振り出す.
- 歩行時に松葉杖または T 字杖 2 本で歩行し, 片足ずつ振り出す.
- 一本杖で歩行.
- 下肢装具のみで歩行.
- 補助具なしに歩行.

13, 中程度の距離(10-100m)の移動

車椅子を使用. 移動するには

- 全面的に介助が必要.
- 電動車椅子を必要とするか, または手動車椅子を操作するのに部分的に介助が必要.
- 手動車椅子で自立している.

中等度の距離を歩行し,

- 歩行時に見守りを必要とする(補助具の要否はどちらでもよい).
- 歩行時に歩行器または松葉杖を使用し, 両足を前に同時に振り出す.
- 歩行時に松葉杖または T 字杖 2 本で歩行し, 片足ずつ振り出す.
- 一本杖で歩行.
- 下肢装具のみで歩行.
- 補助具なしに歩行.

14, 100m 以上の屋外の移動

車椅子を使用. 移動するには

- 全面的に介助が必要.
- 電動車椅子を必要とするか, または手動車椅子を操作するのに部分的に介助が必要.
- 手動車椅子で自立している.

100m 以上を歩行し,

- 歩行時に見守りを必要とする(補助具の要否はどちらでもよい).
- 歩行時に歩行器または松葉杖を使用し, 両足を前に同時に振り出す.
- 歩行時に松葉杖または T 字杖 2 本で歩行し, 片足ずつ振り出す.
- T 字杖 1 本で歩行.
- 片足の下肢装具のみで歩行.
- 補助具なしに歩行.

15, 階段昇降

- 階段の昇り降り不能.
- 少なくとも 3 段は昇り降りできるが, 他人の助けや見守りが必要.
- 少なくとも 3 段は昇り降りできるが, 補助具(例: 手すり, 松葉杖, T 字杖)が必要.
- 少なくとも 3 段は昇り降りでき, 他人の助けや見守りや補助具は不要.

16, 車椅子から車への乗り移り

乗り移りは車椅子の車への積み下ろしも含みます。

- 全面的に介助が必要.
- 部分的に介助や見守りや補助具が必要.
- 介助も補助具も不要.
- 車椅子は使用しない.

17, 床から車椅子への乗り移り

- 他人の助けが必要.
- 他人の助けは不要.
- 車椅子は使用しない.